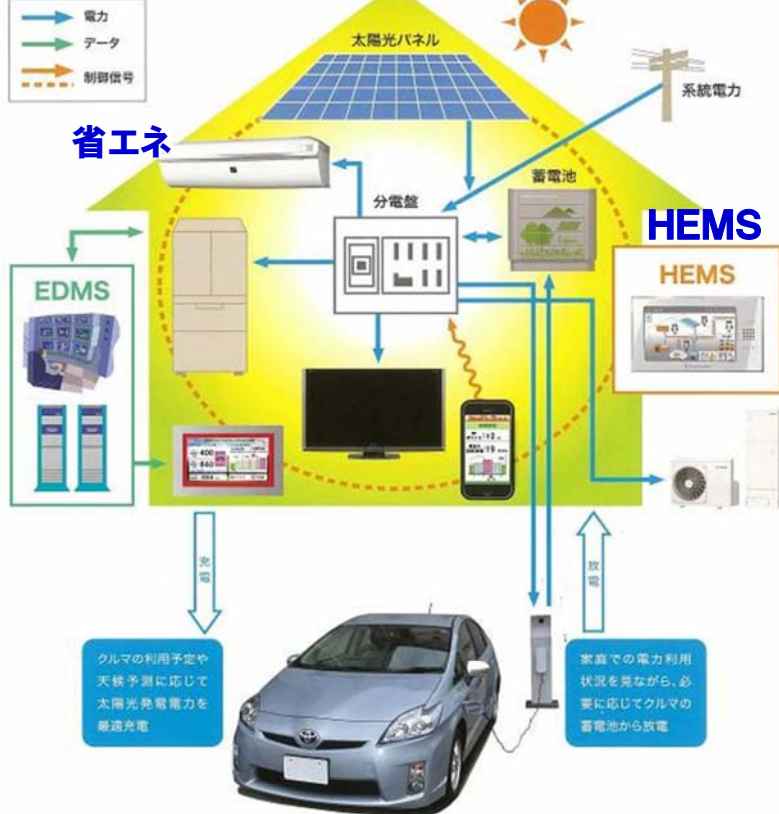


① 家庭内エネルギー利用の最適化

スマートハウス



目標：住宅単体でCO₂排出量を70%以上削減（2005年比） Smart.melit TOYOTA CITY

② 低炭素交通システムの構築



多様な交通手段により、人の移動における低炭素化を実現 Smart.melit TOYOTA CITY

平成24年からの新しい取組み

Ha:mo RIDO(ハーモライド)

連携

Ha:mo NAVI(ハーモナビ)

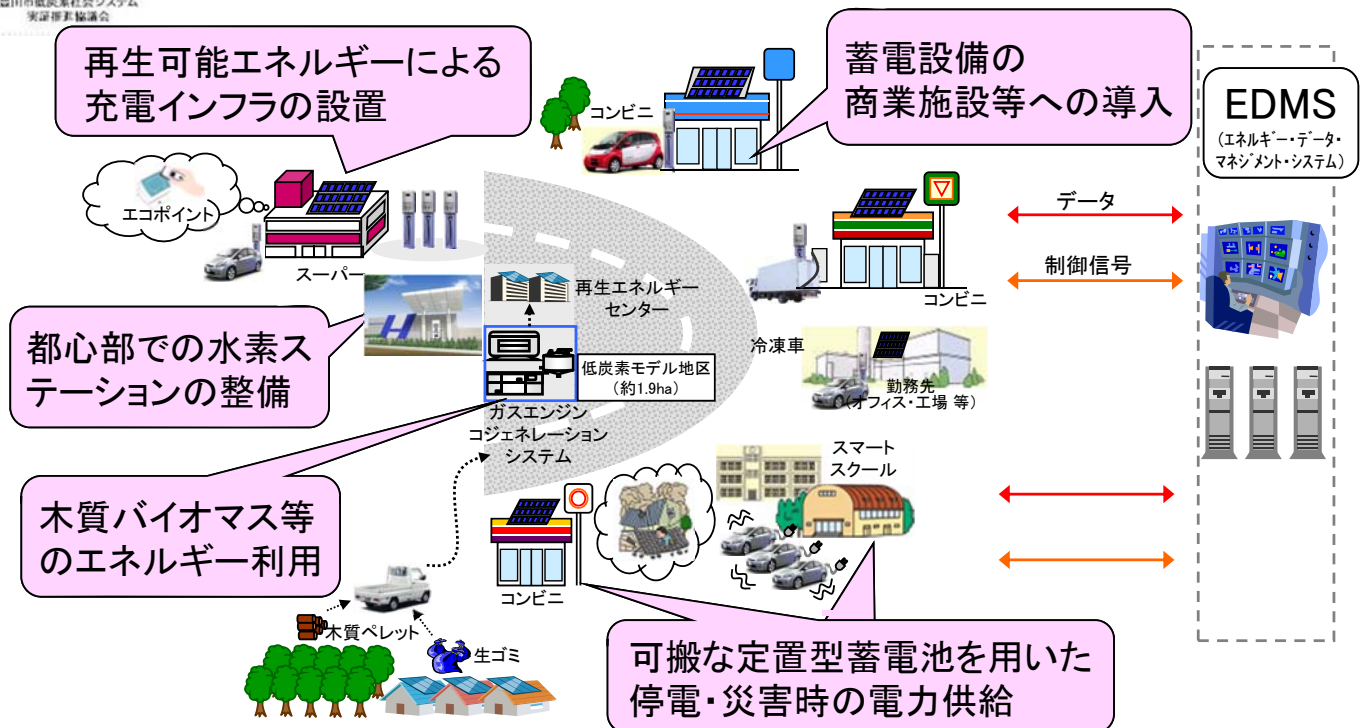
＜狙い＞ 移動利便性を確保しながら公共交通の利用を促進
充電タイミングコントロール等による地域エネマネ貢献

＜狙い＞ 個別の交通サービスを連携させ、交通状況に応じた
利用を促進。低炭素かつシームレスな交通の実現をサポート



スマートフォンでのマルチモーダルルート案内

③ 商業・公共施設等エネルギー利用の最適化

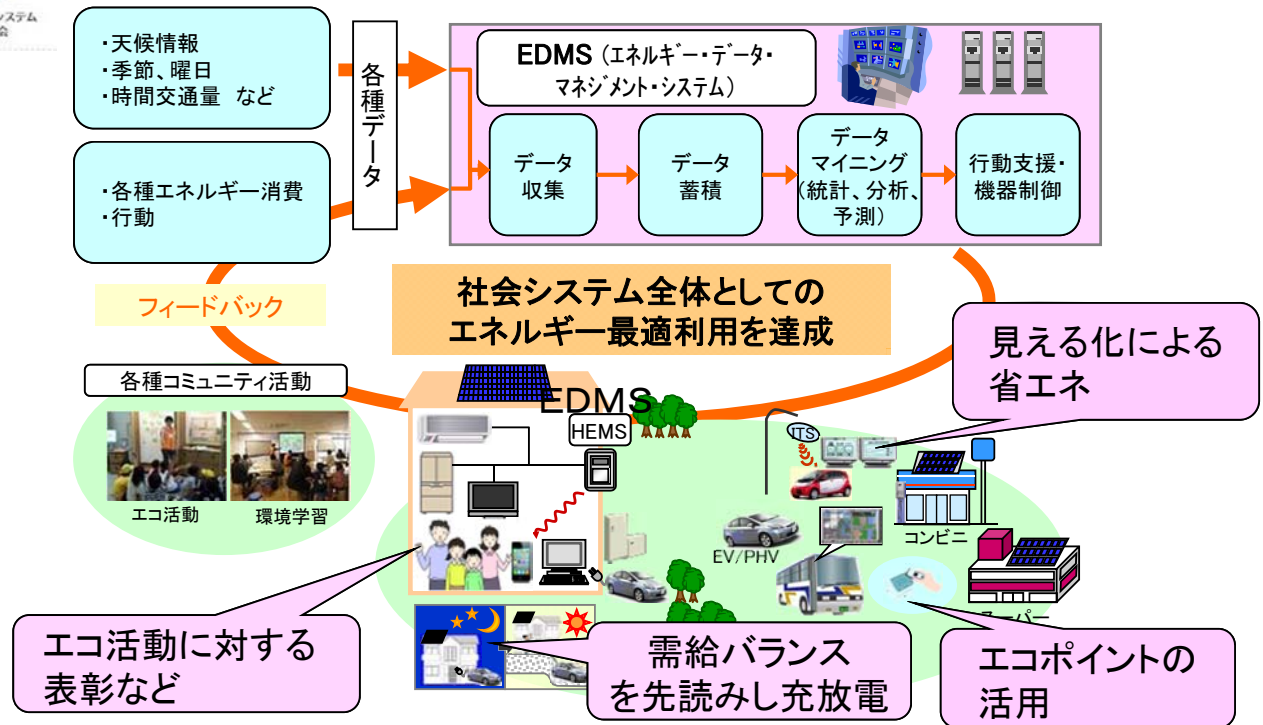


移動先や街レベルでも太陽光電力や熱、未利用エネルギーを面的に最大限利用



豊田市低炭素社会システム
実証推進協議会

④ 生活者の行動支援、社会全体のエネルギー利用の最適化



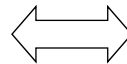
生活者の行動を支援し、エネルギーを最適利用
無理なく、QOL(生活の質)の高いエコライフを実現



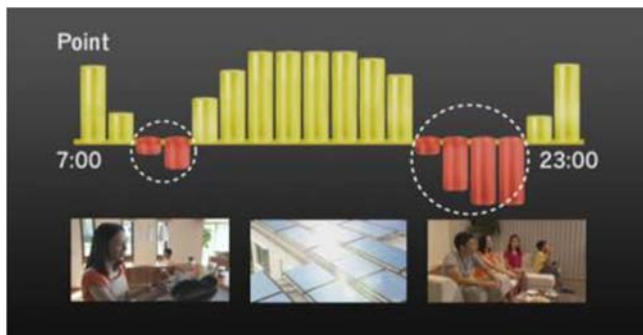
豊田市低炭素社会システム
実証推進協議会

エコポイントによる行動変化の喚起

太陽光電力の供給が多く、
電力需要が少ない時間帯には
ポイントがプラスに

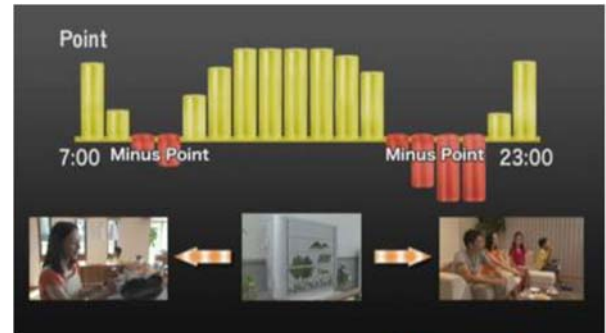
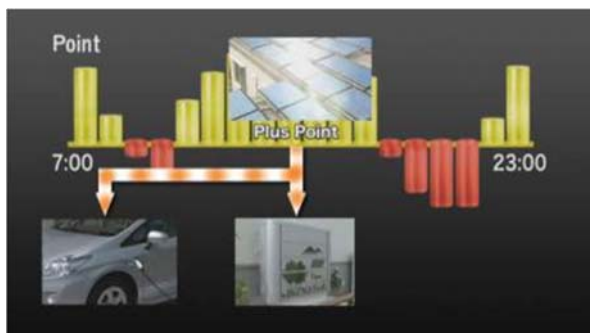


太陽光電力の供給が少なく、
電力需要が多い時間帯には
ポイントがマイナスに



ポイントがプラスになるときは電気を使う/貯める

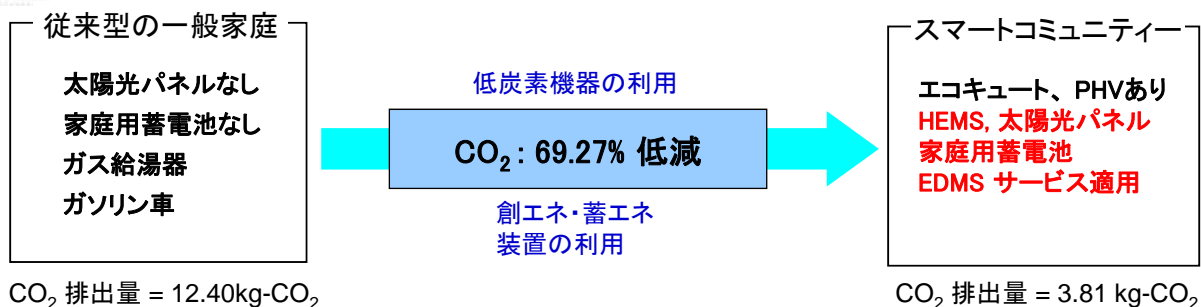
ポイントがマイナスになるときは、貯めた電力を利用



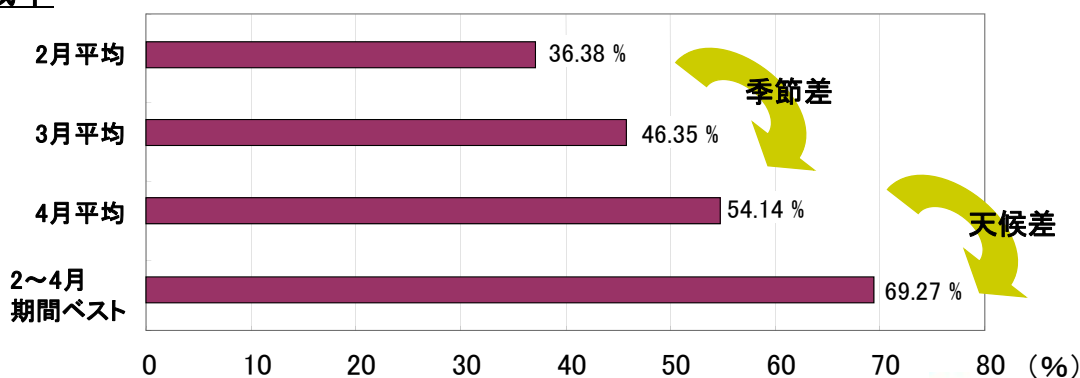


豊田市低炭素社会システム
実証事業協議会

これまでの実証によるCO₂削減効果



CO₂低減率 ガソリン車、ガス給湯器使用の家庭との差



豊田市低炭素社会システム
実証事業協議会

スマートハウス入居者の声

宮城県知事との意見交換会(2012年7月)



- 「どう節約すると、どれだけ効果が出るのかHEMSで確認するのが楽しい。」
- 「EDMSの表示画面が青色のときに掃除や洗濯をするようにしています。特に、難しい操作は必要ありません。」
- 「毎日PHVで通勤していますが、3ヶ月でガソリンはまだ残っている。」





豊田市低炭素社会システム
実証推進協議会

本市の取組を「見える化」する施設：エコフルタウン

地産地消ハウス



第2期

第1期

生活ゾーン

水素ステーション



エネルギー
ゾーン

マルチモービルステーション



とよた ecoful town

■計画区域

元城町地内

第1期面積＝ 約0.7ha (2012年5月オープン)

全体計画面積＝約1.7ha (2014年3月完成予定)

PRゾーン

Smart melit
TOYOTA CITY